

学校法人専修大学 平成 25 年度予算について

標記の件について、別紙「平成 25 年度予算書」を記載のとおり編成しましたので、その概要を説明いたします。

1 予算編成方針

- (1) 目 標 健全財政の確保
- (2) 基本方針
 - ① 教育・研究環境の質的向上を図る施策に重点を置いた予算編成
 - ② 経常経費における節減の推進
 - ③ 収支の均衡を図るために必要な査定の実施
 - ④ 予算制度を確立するという観点から、当初予算に計上された事業以外の項目については、原則的には当年度での対応を見送る。(基本的には特別な事情を除き、補正予算の対象としない。)

2 資金収支予算 ー前年度予算額との比較ー

〔 概 要 〕

総額は、322 億 3,194 万円で前年度予算に比べ 51 億 4,655 万円の減（前年度予算比 13.77% 減）の予算規模となっている。

収入の部では、当年度収入合計が前年度予算に比べ 36 億 2,440 万円の減（前年度予算比 12.98%減）で 242 億 9,344 万円。前年度繰越支払資金は、前年度予算に比べ 15 億 2,215 万円の減で 79 億 3,849 万円となっている。

支出の部では、当年度支出合計が前年度予算に比べ 42 億 6,451 万円の減（前年度予算比 14.49%減）で 251 億 7,548 万円。次年度繰越支払資金は、翌年度の収入となる前受金収入を含み、前年度予算に比べ 8 億 8,204 万円の減で 70 億 5,645 万円となっている。

〔 内 容 〕

(1) 収入の部

- ① 学生生徒等納付金収入は、前年度予算に比べ 2 億 1,420 万円の増（前年度予算比 1.10% 増）で 196 億 7,020 万円。新入生の人数（学部・学科・大学院）を専大で 4,661 人、石巻専大で 389 人を見込み、全体で 5,050 人（前年度予算：4,945 人）を見込んでいる。また、全学年では、学費完納見込者数を専大で 19,034 人、石巻専大で 1,415 人を見込み、全体で 20,449 人（前年度予算：20,882 人）を見込んでいる。
- ② 手数料収入は、前年度予算に比べ 604 万円の減（前年度予算比 0.62%減）で 9 億 6,980 万円。このうち、入学検定料収入は、前年度予算に比べ 355 万円減の 9 億 3,556 万円を計上している。
- ③ 寄付金収入は、前年度予算に比べ 150 万円の増（前年度予算比 1.25%増）で、1 億 2,150 万円。一般寄付金の募集を再開し、2,150 万円を計上している。

- ④ 補助金収入は、前年度予算に比べ 3 億 3,810 万円の減（前年度予算比 15.62%減）で 18 億 2,693 万円。このうち、国庫補助金収入は、私立大学等経常費補助金及び教育研究装置補助金等の減額を見込み、前年度予算に比べ 3 億 4,034 万円の減（前年度予算比 15.81%減）で 18 億 1,198 万円を計上している。
- ⑤ 資産運用収入は、前年度予算に比べ 9,018 万円の増（前年度予算比 49.83%増）で 2 億 7,119 万円。受取利息配当金収入の増を見込んでいる。
- ⑥ 資産売却収入は、前年度予算に比べ 2 億 8,661 万円の増（前年度予算比 143.31%増）で 4 億 8,661 万円。生田校地が川崎市道路拡幅事業計画に該当したことに伴い、土地の有償提供による固定資産売却収入の増を見込んでいる。
- ⑦ 事業収入は、前年度予算に比べ 9,121 万円の減（前年度予算比 17.58%減）で 4 億 2,753 万円。受託事業収入の減を見込んでいる。
- ⑧ 雑収入は、前年度予算に比べ 2,909 万円の増（前年度予算比 4.40%増）で 6 億 9,001 万円。退職金財団からの交付金収入の増等を見込んでいる。
- ⑨ 前受金収入は、平成 26 年度入学者の入学手続き時の納入学費（翌年度の学生生徒等納付金収入となる。）で、前年度予算に比べ 273 万円の減（前年度予算比 0.07%減）で 40 億 1,198 万円。
- ⑩ その他の収入は、前年度予算に比べ 36 億 7,037 万円の減（前年度予算比 89.10%減）で 4 億 4,878 万円。施設設備準備資産からの繰入収入の減及び前期末未収入金収入において、退職金財団交付金等の前年度の期末未収入金が減額となっていることなどによる。
- ⑪ 資金収入調整勘定（収入の振替控除科目）は、期末未収入金及び前期末前受金で前年度予算に比べ 1 億 3,754 万円 振替控除額の増（前年度予算比 3.06%増）で 46 億 3,113 万円。平成 25 年度退職教職員に係る退職金財団交付金収入等の期末未収入金及び平成 24 年度前受金収入をそれぞれ計上している。

(2) 支出の部

- ① 人件費支出は、前年度予算に比べ 1 億 5,024 万円の増（前年度予算比 1.04%増）で 145 億 5,179 万円。主たる要因は教職員の退職金支出で、前年度予算に比べ 1 億 3,669 万円の増で、9 億 7,542 万円となっている。
- ② 教育研究経費支出は、前年度予算に比べ 9 億 7,016 万円の減（前年度予算比 15.97%減）で 51 億 642 万円。主な科目の予算額（前年度予算との増減）及びその内容は以下のとおり。

- ・ 消耗品費支出：3億3,753万円（4,962万円の減）
 ネットワーク情報学部パソコン実習等教材費、授業運営用ソフトウェア、各実習室・
 実験室消耗品、体育実技用具、各種課外講座消耗品、教員個人研究費消耗品、石巻学
 生実験消耗品等
- ・ 図書資料費支出：2億997万円（10万円の減）
 洋雑誌、和雑誌、洋雑誌電子ジャーナル、加除式資料等
- ・ 印刷製本費：2億2,833万円（965万円の減）
 ニュース専修、講義要項、各種論集、学習ガイドブック、学部案内、各種講座案内、
 入試問題、手続要項等
- ・ 光熱水費支出：6億5,219万円（153万円の増）
 電気料、ガス料、重油・灯油代、上下水道料等
- ・ 旅費交通費支出：2億2,185万円（1,287万円の減）
 ゼミナール合宿出張旅費、学会出張旅費、研究助成旅費、在外研究員研究旅費、路線
 バス運賃補助等
- ・ 奨学費支出：5億7,977万円（1億8,630万円の減）
 新入生特別奨学生、学術奨学生、スカラシップ奨学生、大学院学術奨学生、法科大学
 院新入生学術奨学生、被災者支援奨学生、被災者支援スカラシップ奨学生、神山奨学
 生、家計急変奨学生、災害見舞奨学生等
- ・ 補助費支出：2億4,510万円（586万円の増）
 研究所補助、学生団体等活動費、学生主催行事補助、ゼミナール論集制作費補助、体
 育会各部活動補助、学会補助等
- ・ 修繕費支出：2億354万円（2億3,639万円の減）
 神田2号館2階教室改修工事、生田2号館解体関連工事、生田9号館特高受変電設
 備交換工事、第1体育館耐震改修工事、石巻1号館屋上防水シート改修工事等
- ・ 委託費支出：13億4,078万円（3億8,020万円の減）
 受付・校舎管理業務、校舎清掃業務、建物・設備管理業務、交通誘導業務、各事務所
 管人材派遣、キャリアカウンセラー業務、各種コンピュータシステム開発、大学直通
 バス運行、セミナーハウス管理業務、図書整理・受入・閲覧業務、各種課外講座委託
 等
- ・ 保守費支出：4億4,216万円（974万円の減）
 教室視聴覚設備、教育・研究用コンピュータシステム他教学関連システム、中央監視
 設備他諸設備、空調機器、エレベータ等
- ・ 賃借料支出：1億5,296万円（5,304万円の減）
 教学システム、LL機器一式、事務用コンピュータシステム、図書館各種情報検索サ
 ービス利用料、大学ホームページシステムサーバ利用料、卒・入学式会場借用料、ス
 カラシップ・全国入試、ターミナル入試試験会場借用料等
- ・ 謝礼費：1億2,718万円（1,097万円の増）
 授業科目・各種課外講座講師料、シンポジウム・公開講座講演料等

- ③ 管理経費支出は、前年度予算に比べ3億8,278万円の減（前年度予算比21.17%減）で14億2,538万円。主な科目の予算額（前年度予算との増減）及びその内容は、以下のとおり。
- ・消耗品費：1億1,409万円（270万円の減）
オープンキャンパス等学生募集関連消耗品、生田会館食堂椅子、体育寮・セミナーハウス食材費、電気・空調・消防設備関係消耗品等
 - ・印刷製本費支出：1億3,193万円（1,084万円の減）
ニュース専修、大学案内、入学ガイド、各種入試要項、学部案内、電車内窓上広告ポスター等
 - ・委託費支出：3億8,712万円（4,255万円の減）
受付・校舎管理業務、校舎清掃業務、建物・設備管理業務、各事務所管人材派遣、運転業務、入学センターインフォメーション業務、入学ガイド・入試要項等発送業務、入試志願処理業務、体育寮給食業務等
 - ・広告費支出：3億6,468万円（390万円の増）
交通広告、駅看板、電車内中吊り・窓上広告、WEB広告、新聞・雑誌広告、街頭テレビ放映等
- ④ 借入金等利息支出は、前年度予算に比べ823万円の減（前年度予算比37.27%減）で1,385万円。日本私立学校振興・共済事業団、三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行からの借入金に係る利息。
- ⑤ 借入金等返済支出は、前年度予算に比べ4,444万円の減（前年度予算比5.64%減）で7億4,332万円。償還計画に基づく返済額。
- ⑥ 施設関係支出は、前年度予算に比べ19億2,427万円の減（前年度予算比47.20%減）で21億5,256万円。主な内容は、後記の〔主な施設等整備事項〕で記載している。
- ⑦ 設備関係支出は、前年度予算に比べ1億5,972万円の増（前年度予算比28.19%増）で7億2,634万円。このうち、教育研究用機器備品支出は、前年度予算に比べ8,759万円の増で4億1,283万円。神田2号館2階教室机・椅子他設備品・視聴覚設備、神田8号館視聴覚設備、生田2号館解体に伴う教学事務室移転設備品、生田9号館7階教室視聴覚設備、教育支援基盤システム更新、教学事務用コンピュータシステム更新、生田第1体育館耐震改修に伴う設備品、石巻学生実習・実験用機器、DNAシーケンサー等。図書支出は、前年度予算に比べ154万円の減で2億1,491万円。
- ⑧ 資産運用支出は、前年度予算に比べ9,900万円の増（前年度予算比27.12%増）で4億6,400万円。有価証券購入支出は、2億円を計上。退職給与引当資産への繰入支出（5,000万円）、法人基金準備資産への繰入支出（1,400万円）、施設設備準備資産への繰入支出（2億円）とも計画による繰入額。

⑨ その他の支出は、前年度予算に比べ 8 億 4,404 万円の減（前年度予算比 39.10%減）で 13 億 1,489 万円。このうち、前期末未払金支払支出は、前年度予算に比べ 8 億 4,912 万円の減で、12 億 895 万円。平成 24 年度末に退職する教職員の退職金、2・3 月分退職金財団掛金、リース契約取引の平成 25 年度リース料等。

⑩ 予備費は、前年度予算と同額で 1 億 5,000 万円。

⑪ 資金支出調整勘定（支出の振替控除科目）は、期末未払金及び前期末前払金で、前年度予算に比べ 4 億 9,955 万円 振替控除額の増（前年度予算比 51.31%増）で 14 億 7,310 万円。平成 25 年度末に退職する教職員の退職金等未払金、平成 24 年度末における洋雑誌・和雑誌の購入に係る前払金の回収見込額をそれぞれ計上。

[主な施設等整備事項]

専 修 大 学

①神田 2 号館 2 階教室改修工事 ②神田 5 号館（仮称）新築工事 ③生田 2 号館解体に伴う設備切替等関連工事 ④生田 7 号館トイレ改修工事 ⑤生田 9 号館中央監視室非常用アンブ更新工事 ⑥生田 9 号館 7 階教室視聴覚設備改修工事 ⑦生田 9 号館共用部ダウンライト改修工事 ⑧神田・生田事務用コンピュータシステム更新工事 ⑨生田国際交流会館（仮称）新築工事 ⑩生田新体育寮・新体育館（仮称）新築工事 ⑪生田第 1 体育館耐震改修工事等

3 消費収支予算

[概 要]

消費収入の部では、帰属収入合計（学校法人の負債としない収入）が前年度予算に比べ、8,134 万円の増（前年度予算比 0.34%増）で 243 億 900 万円。基本金組入額合計が前年度予算に比べ 16 億 8,727 万円の減（前年度予算比 31.20%減）で 37 億 2,149 万円。消費収入の部合計は、前年度予算に比べ 17 億 6,862 万円の増（前年度予算比 9.40%増）で 205 億 8,750 万円となっている。

消費支出の部では、消費支出の部合計が前年度予算に比べ 12 億 2,132 万円の減（前年度予算比 4.87%減）で 238 億 7,314 万円となっている。

当年度消費収支差額は、前年度予算に比べ 29 億 8,994 万円の減（前年度予算比 47.64%減）で 32 億 8,564 万円の消費支出超過額となっている。前年度繰越消費支出超過額（312 億 2,093 万円）を加えた翌年度繰越消費支出超過額は、345 億 657 万円となっている。

[内 容]

※前記の資金収支予算と共通の科目があるので、消費収支予算特有のものについて説明。

(1) 消費収入の部

① 寄付金は、前年度予算に比べ 150 万円の増（前年度予算比 0.56%増）で 2 億 7,160 万円。一般寄付金募集の再開による増を見込んでいる。

② 資産売却差額は、1億8,171万円。川崎市道路拡幅事業計画に伴う生田校地の売却による固定資産売却差額を計上している。

(2) 消費支出の部

① 人件費は、前年度予算に比べ1億8,449万円の増（前年度予算比1.29%増）で145億399万円。退職給与引当金繰入額9億2,763万円（1億7,094万円の増）を含んでいる。

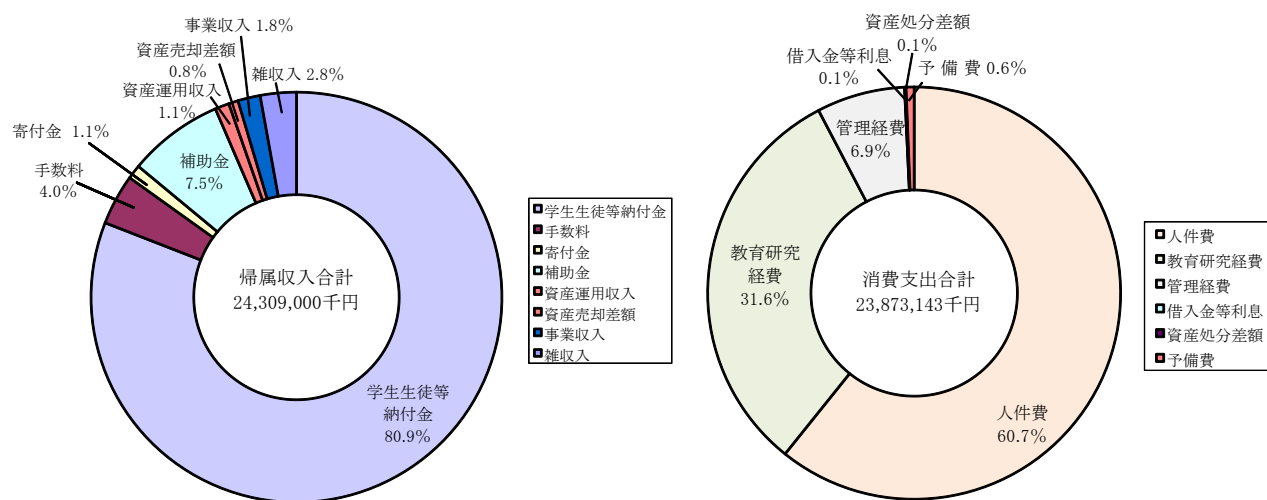
② 教育研究経費は、前年度予算に比べ8億9,037万円の減（前年度予算比10.56%減）で75億4,081万円。減価償却額24億3,438万円（7,978万円の増）を含んでいる。

③ 管理経費は、前年度予算に比べ3億7,292万円の減（前年度予算比18.43%減）で16億5,105万円。減価償却額2億2,567万円（985万円の増）を含んでいる。

④ 資産処分差額は、固定資産処分差額で前年度予算に比べ1億3,428万円の減（前年度予算比90.92%減）で1,341万円。機器備品、図書等の除却による処分差額を計上している。

(表1)

平成25年度 消費収支予算科目別構成



(表2)

主要財務比率

比率	算式 (×100)	平成21年度 (決算)	平成22年度 (決算)	平成23年度 (決算)	平成24年度 (補正予算)	平成25年度 (予算)
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	54.89 % (52.6 %)	74.24 % (52.9 %)	55.58 % (54.0 %)	59.10 %	59.67 %
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	69.23 % (72.4 %)	91.27 % (72.0 %)	72.29 % (74.4 %)	73.60 %	73.74 %
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	33.68 % (30.9 %)	31.16 % (30.9 %)	32.72 % (30.9 %)	34.80 %	31.02 %
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	8.37 % (10.3 %)	7.94 % (8.8 %)	7.17 % (8.7 %)	8.35 %	6.79 %
帰属収支差額比率	$\frac{\text{帰属収入}-\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	1.39 % (3.7 %)	△13.62 % (4.4 %)	3.52 % (3.4 %)	△3.58 %	1.79 %

備考 ()内は日本私立学校振興・共済事業団調査による医歯系法人を除く大学法人平均値を示す。